

標準漢字表は、1942年（昭和17年）に国語審議会により文部大臣に答申された漢字表です。漢字が無制限に使用されて社会生活上に不便があるので、官庁や一般社会で使う漢字の標準を示すものであることが、前書きに記されています。

全体は2,528字あり、うち、日常生活との関係の深さによって常用漢字1,134字と準常用漢字1,320字、それに、皇室典範等に用いられる特別漢字74字に分けられています。

一部には簡易字体が採用されています。

のちに、当用漢字表を検討する基礎となりました。

参照

- ・ 標準漢字表 - 国語施策沿革資料11（平成8年12月16日）漢字字体資料集（諸案集成1）より